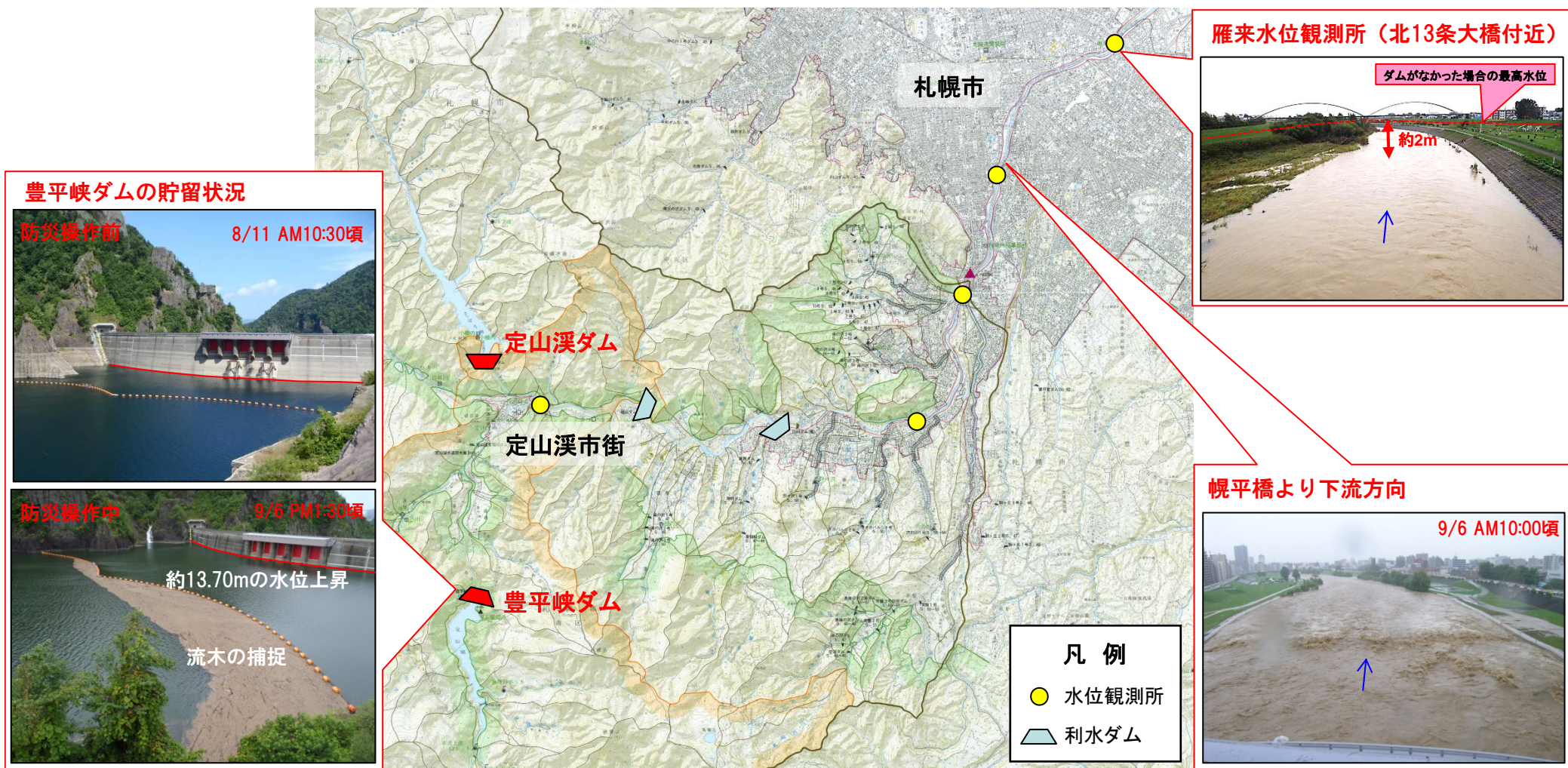


豊平峡ダム・定山溪ダムの防災操作効果について

平成23年9月5日より降り始めた雨により、豊平川の上流にある豊平峡ダム、定山溪ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

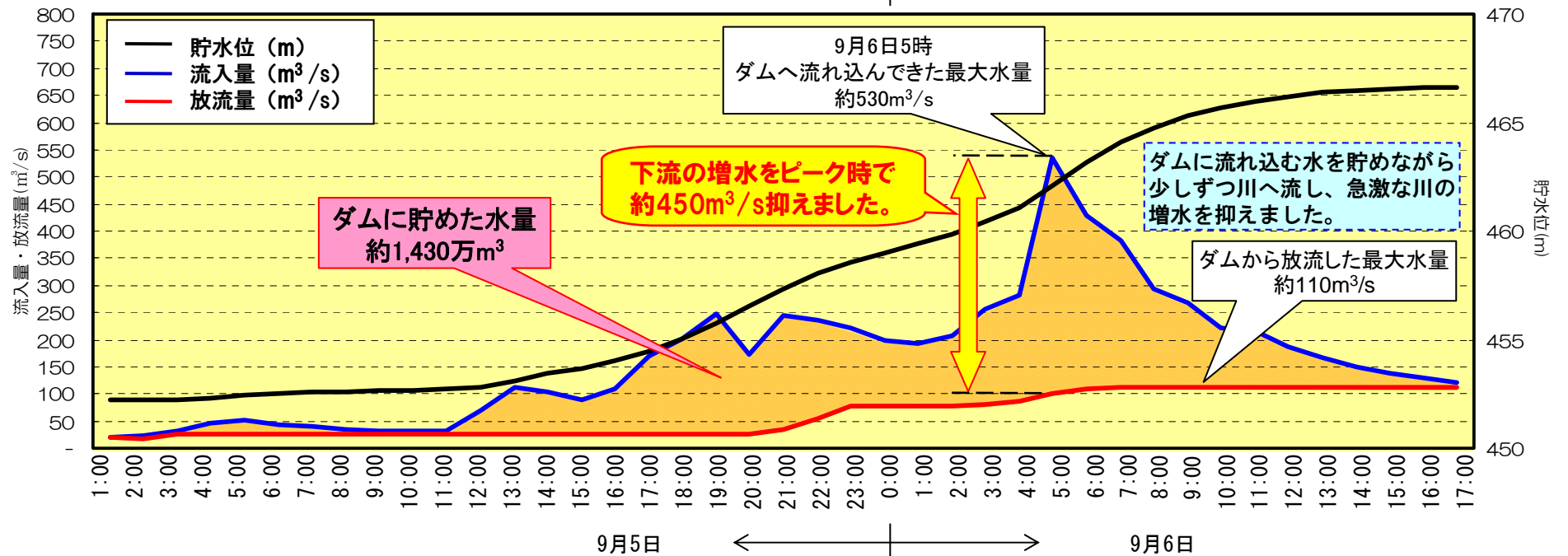
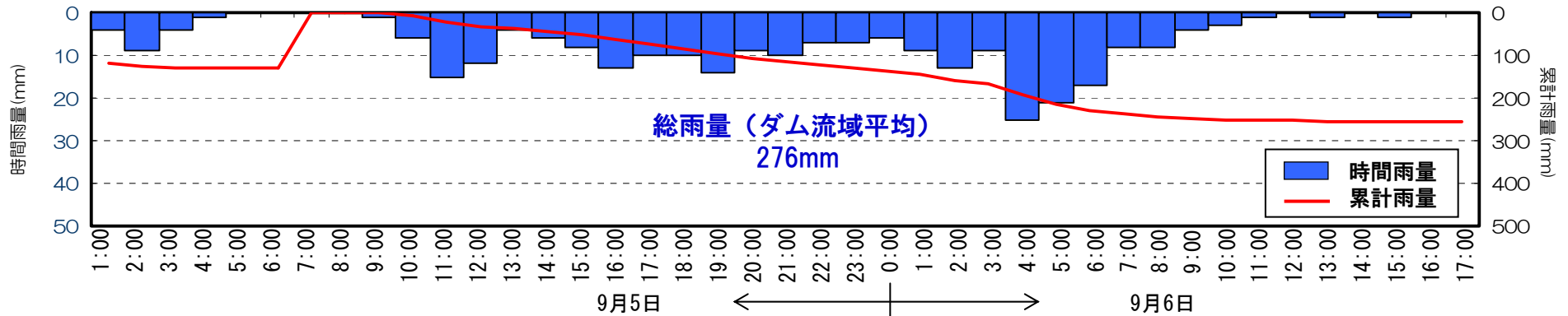
ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、豊平川の北13条大橋付近（雁来水位観測所）の水位を**概ね2m程度低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます

豊平峡ダムの防災操作状況

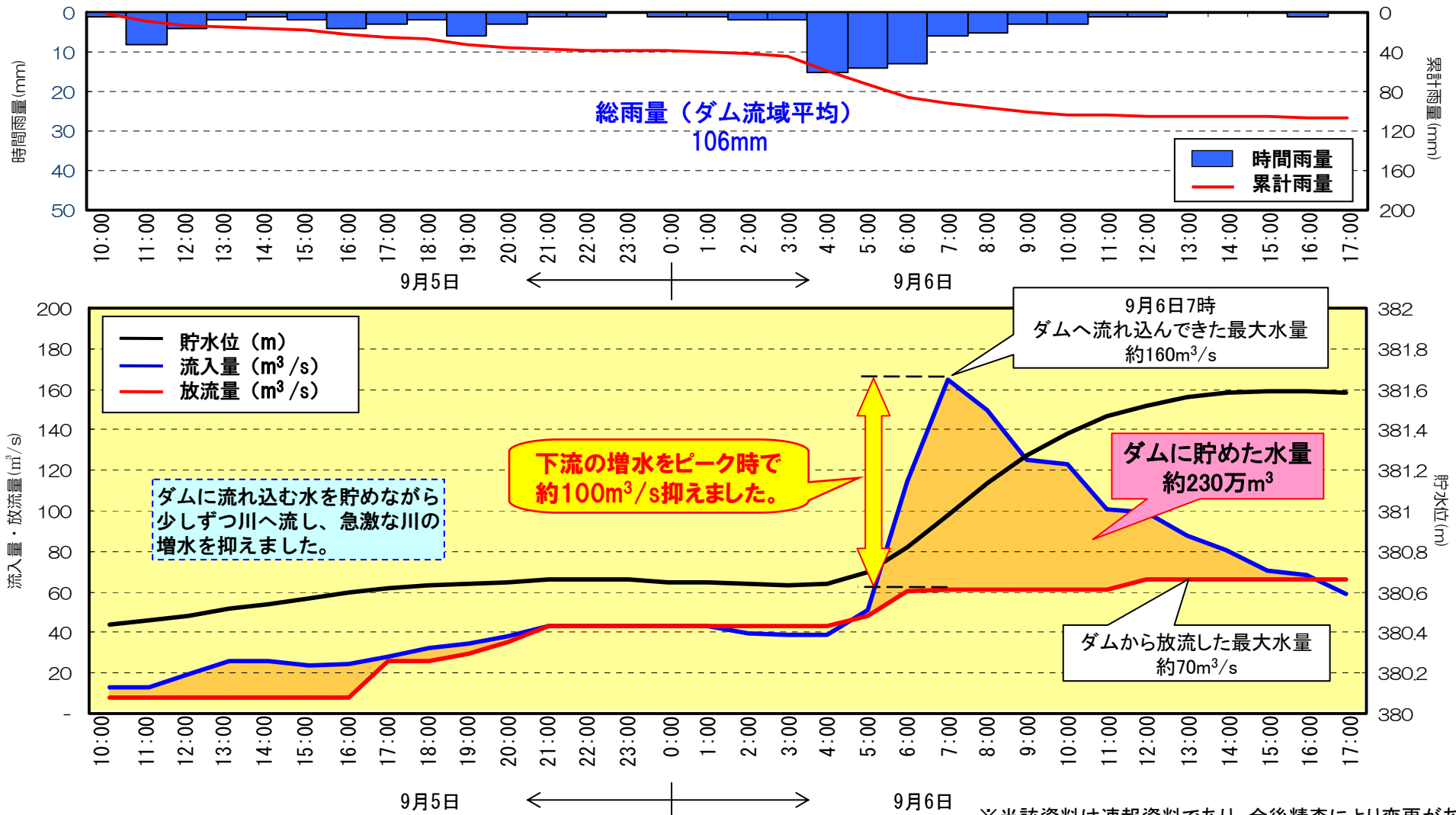
今回の出水において、豊平峡ダムでは、最大で毎秒約530m³の流入がありました。
 それに対し下流への放流を最大でも毎秒110m³程度に抑え約1,430万m³（札幌ドーム約9個分）の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

定山溪ダムの防災操作状況

今回の出水において、定山溪ダムでは、最大で毎秒約 160m^3 の流入がありました。
 それに対し下流への放流を最大でも毎秒 70m^3 程度に抑え約 230万m^3 （札幌ドーム約1個分）の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。

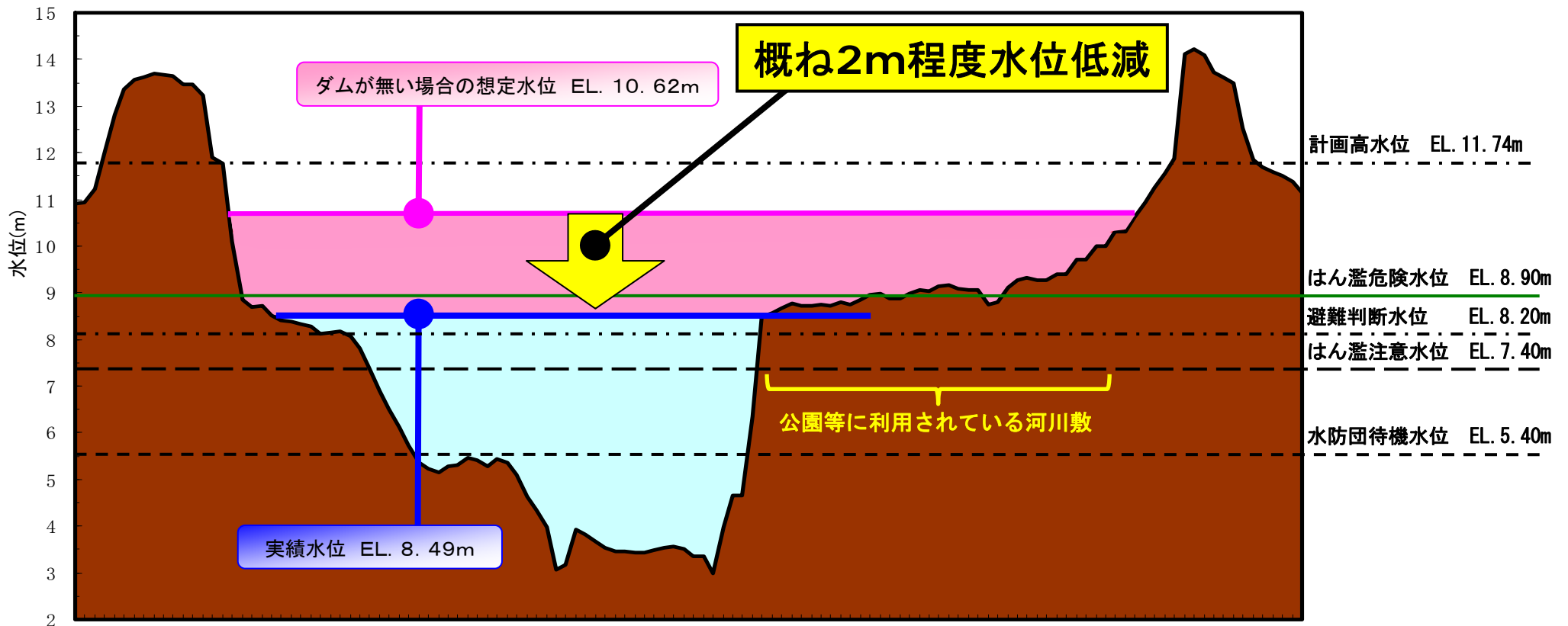


※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます

豊平峡・定山溪ダムによる水位低減効果（雁来水位観測所地点）

豊平峡ダム・定山溪ダムの防災操作により、豊平川の北13条大橋付近（雁来水位観測所）の水位を**概ね2m程度低減**させたと想定されます。これにより「はん濫危険水位」を超える水位上昇を抑えるとともに、公園等に利用されている河川敷への濁流の流下を抑えたと推測されます。

◆雁来水位観測所地点（豊平峡ダム下流約39km、定山溪ダム下流32km）



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます